

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立中の島小学校 3年生 75名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	(1) オリンピック・パラリンピックの映像教材等を活用してオリンピック・パラリンピックに関する課題を設定し、調べようとする。 (2) 自己の課題解決に必要な情報や資料を収集し、それらを使って調べるようにする。 (3) 学習したことを整理し、自分が選んだ方法でまとめる。
5 取組内容	(1) オリンピック・パラリンピックの理解 学習読本や映像教材等を活用することにより、パラリンピックスポーツについて理解するとともに、興味・関心を高める。 (2) 図書資料・映像等の活用 学習読本や映像教材以外にも、オリンピックの講演やオリンピックミュージアムの見学、書籍等多くの資料を提示することにより、自己の課題を解決するための見通しをもったり、課題解決のために必要な情報を選択したりすることのできる資料活用能力を高める。 ○指導計画【8時間扱い】 「総合的な学習の時間」 ・映像教材を視聴し、オリンピック・パラリンピックに対する理解を深める。（1時間） ・オリンピック・パラリンピックについて興味をもったことを基に自分の課題を決める。（1時間） ・オリンピックの講演やオリンピックミュージアムの見学、インターネットや図書資料を活用して自分の課題を調べる。（2時間） ・まとめ方や発表方法についての計画を立て、発表資料等を作成し、

	発表する。 (2時間)
6 主な成果	・オリンピックの講話やオリンピックミュージアムの展示物見学を通して、オリンピック・パラリンピックに対する興味が喚起された。 ・スキージャンプ選手の練習風景を間近で見学できたことで、特に冬季オリンピック・パラリンピックの開催競技に対して、子どもの関心を高めることにつながった。 ・学習後、「平壤オリンピックを絶対見る。」「東京オリンピックを見に行きたい。」「札幌オリンピックに参加したい。」といったオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高めていた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8 主な課題等	・パラリンピックスポーツ等を子どもが体験すること、障害がある人との交流をしたり一緒に運動したりすることで、「社会に貢献しようとする意欲」や「他者を思いやる心」などの豊かな心の育成の育成につながると考える。 ・オリンピック選手もパラリンピック選手も努力を続けて目標を達成できたことを分かる学習場面を設定することで、様々な道徳的価値、生き方を学ぶために有効だと考える。また、2020年の東京オリンピックやパラリンピックに対する期待感の高まりも生まれてくる。
9 来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。